

## 竹の友幼稚園 アプローチカリキュラム

「アンケートの集計結果の分析」やこれまでの実践を基に検討し、平成29年度以降アプローチカリキュラムの基本プラン及びカリキュラムを次のように編成する。

### アプローチカリキュラム基本構想 田上町立竹の友幼稚園

#### 保護者及び小学校との連携

##### ○ 生活リズムを変える。…「おはよう」から「行ってきます」までの生活の充実

就学に向けて保護者の不安が大きい「早寝早起き」について、実態に基づいて早期の生活改善ができるようにする。

- ・ 「小学校入学までの今が大切…ご家庭にお願いしたいこと」の冊子を配付。両小学校の集団登校及びスクールバスの集合時刻の情報も提供し、幼児の生活を見直すよう促す。

【例】スクールバス乗車の場合、最も早い地区は7:00集合→朝食を6:00に食べられるように朝食準備を終える必要があることを保護者が自覚し、適当な時期から、生活を少しずつ変えていく。

- ・ 両小学校では、就学時健康診断や入学説明会の機会に、集団登校及びスクールバスの集合時刻に関して説明を行い、保護者の理解を図る。



#### 園の生活（期別時間割）の工夫

##### ○ 1期～4期の区分において、3期（10月～12月）と4期（1月～3月）の保育時間を変更し、午後の生活リズムをつくる。

- ・ 3期（10月）から、午睡の時間をなくす。
- ・ 好きな遊びの他にクラス活動を1日2回に増やし、集団遊びを楽しんだり、園児同士のかかわりを深めたりできるようにする。
- ・ 集団遊びの際は、集団の数を次第に増やし、大きな集団に慣れさせる。
- ・ 身支度や後始末が、自分で気付いて自分でできるように、環境を工夫する。

#### 園の1日の生活（デイリープログラム）の工夫

##### ○ 1期～4期の区分において、3期（10月～12月）と4期（1月～3月）の保育内容や活動の工夫と充実を図り、子どもの育ちを支える。

◎ クラス活動の充実を図るために活動時間を増やし、ワークや制作活動、集団遊びなどの計画保育を行う。

※ゴシックは、「田上の12か年教育」の取組

- ・ 生活発表の時間を増やし、聞くことや話すことの力を伸ばしていく。
- ・ 1日の生活の流れを掲示するとともに生活に時計を取り入れ、見通しをもって生活できるようにする。
- ・ 生活の中であいさつの号令をかけたり、クラス活動の準備などを組み入れたり、当番活動の意識を高める。
- ・ ドッジボール遊びや鬼ごっこなど大勢で楽しめる遊びや劇遊びなどイメージを広げながら創作する遊びを充実させ、友達とのかかわりを深め、心と体を育てる。
- ・ 脱いだ衣服の始末の仕方やおもちゃなどの片付け方について、個々に、または全体に場面を通して促し、身の回りの整理整頓ができるようにする。

#### 5歳児年間指導計画の充実

- 1期～4期の区分において、田上の12か年教育の内容と密接に関係している項目を強調し、さらに、3期から4期の年間指導計画に、アプローチカリキュラムの内容を加え、より意図的に援助していく。